

◆ 病院概要

●開設者名 新潟県 ●病院長名 長谷川 正樹

●標榜診療科目

内科、消化器内科、脳神経内科、循環器内科、小児科、外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、歯科口腔外科、放射線治療科、放射線診断科、麻酔科、病理診断科、精神科、リハビリテーション科、救急科

●使用許可病床数

	使用許可病床数	一日平均入院患者数
一般	524床	441人
感染症	6床	0人

●一日平均外来患者数 1,102人

●医師数 常勤 107人 非常勤 3.5人

●年間手術件数 5,931件

●年間出産件数 524件

●救急告示病院の指定 有

●学会指定施設の状況

日本内科学会認定医制度による教育病院認定、日本腎臓学会研修施設、日本透析医学会教育関連施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本消化器病学会関連施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設、血液研修施設、循環器専門医研修施設、日本呼吸器学会認定施設、日本気管支学会認定医認定施設、心臓血管外科関連施設認定、日本外科学会認定医制度修練施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本呼吸器外科専門医制度基幹施設、日本手の外科学会認定手の外科専門医制度基幹研修施設、日本乳癌学会認定施設、日本肝胆膵外科学会高度技能医修練施設B認定、日本小児外科学会認定施設、日本整形外科認定医制度による研修施設、日本リウマチ学会教育施設、日本脳卒中学会教育病院、日本脳神経外科学会専門医訓練場所、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、日本がん治療認定研修施設、日本周産期新生児医学会専門医制度の暫定研修施設、日本産科婦人科学会専門医制度卒業研修指導施設、周産期母体胎児専門医の暫定研修施設、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本形成外科学会教育関連施設、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設、放射線科専門医修練機関、日本麻酔科学会指導病院、麻酔科認定病院、日本病理学会研修認定施設B認定、日本臨床細胞学会施設、救急科専門医指定施設



医学生の皆様へ

少人数だからできる、フレキシブルな研修はいかがですか？

新潟県立中央病院は、新潟県上越地域の基幹病院として、あらゆる症例に対応できるように、充実した施設と医療スタッフを備えた病院です。



■病院の特徴

- 高度先進医療への対応
 - ・がん医療への対応 ～無菌室の設置、定位放射線治療装置、外来化学療法室の設置
 - ・新生児医療への対応 ～NICUの設置
 - ・手術部門の充実 ～無菌手術室を含む9室の手術室
- 救命救急センターの設置
 - ・集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患集中治療室（CCU）の設置
 - ・災害拠点病院としてDMATも活躍する。
- 機能的な部門間の連絡
 - ・電子カルテシステムの整備
 - ・地域連携センターの設置
- 次世代の人材育成に対応
 - ・隣接する新潟県立看護大学の実習病院
 - ・臨床検査技師の実習病院
 - ・認定看護師、認定検査技師などの専門性の高い人材の育成
 - ・各学会専門医の教育病院



■研修医の声

- 最大の特徴は、自由度の高い救急外来。
1次から3次まで症状もキャラクターも様々な患者が来院し、診療にあたります。重症例も幅広く対応し、多くのことが学べます。
- 先生方がアットホームで、相談しやすい雰囲気の特徴
自分で治療方針を決める際も、しっかりとフォローしてくれます。
- 医局と独立した約50畳の研修医室が使いやすい！
机も棚も大きく勉強も休憩もしやすいです。快適な個室ベッドが3部屋あり、エコーも設置され、練習し放題です。
- 研修プログラムの自由度が大きい。
やりたいことができるので、目的を持って自発的に取り組みやすいです。また、研修ローテーションを変更したい場合も、希望に沿って最大限実現してもらえる環境が整っています。

■研修の特徴

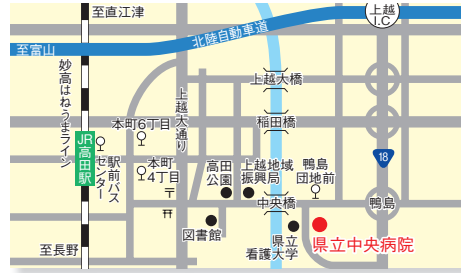
- 救急研修が充実
救命救急センター併設で、1-3次の救急研修ができる。
ACLS、J-TEC外傷コースを院内で研修できる。
休日・夜間も放射線科専門医の在宅CT読影。
- 周産期・小児医療の充実
NICU併設のため産科・小児科医療が充実
マンツーマンの指導
小児外科の研修も可能
- がん治療の充実
がん診療連携拠点病院として、充実したがん医療ができる。

★研修医居室（第3医局）

集中して研修に取り組めるよう、快適な学習環境を用意しています。



◆ Access



- 北陸新幹線 上越妙高駅から バス(高田駅前経由):約30分、タクシー:約20分
- えちごトキめき鉄道 高田駅から バス:約15分、タクシー:約10分、徒歩:約45分

照会先

庶務課 臨床研修担当

TEL 025-522-7711

FAX 025-521-3720

E-mail shomu@cent-hosp.pref.niigata.jp

病院見学の受入 随時

申込方法

電話またはメールにてお申込ください。

詳しくは、当院ホームページをご覧ください。

研修概要

研修プログラムの目的と特徴 (2021年度研修医)

●目的

医療技術のめざましい進歩に加え、「ターミナル・ケア」「救急医療」「脳死、臓器移植」「周産期・新生児医療」「インフォームド・コンセント」等、日本の医療が変革の時期を迎えている中で、技術重視の医療から「患者の視点に立った医療」「患者に思いやりのある丁寧な医療」への転換が望まれている。将来の専門性にかかわらず、プライマリ・ケアの基本的な態度・技量・知識を身につけた「人間としての感性」を備えた医師の養成を図る。

●特徴

*選択研修では、研修病院と科を自由に選択し組み立てることが可能

- ①選択研修11ヶ月間は当院のほか上越総合病院、糸魚川総合病院、新潟労災病院、魚沼基幹病院、がんセンター新潟病院、新発田病院も選択できる。
- ②救命救急センターでの研修は1次から3次救急医療までの患者を通して医学的対処法のみならず、患者への配慮とチーム医療などの研修が行える。
- ③協力型の地域病院では、患者だけではなく家族を含めた人々への全人的な対応の必要性や方法を理解・実践できる研修が行える。
- ④救命救急センターやNICUでの日当直を通じて救急医療の研修が行える。
- ⑤幅広い救急患者の中から症例に応じて、他科で勤務中の研修医にも直ちに連絡を取る態勢により、興味深い症例等豊富に経験できる。

●教育課程

ローテーションの例

1年次	内科 24週	救命救急 12週	外科 4週	小児科 4週	産婦人科 4週	精神科 4週
2年次	地域医療 4週	選択科目 48週				

内科研修には一般外来研修を含む
救命救急では麻酔・心肺蘇生・挿管技術等を含む
精神科研修は、さいがた医療センター、川室記念病院、高田西城病院で行う
地域医療研修は、妙高病院、柿崎病院、上越保健所で行う

【2年次に選択可能な診療科】 原則4週以上

内科(消化器内科、循環器内科、脳神経内科を含む)、外科、小児科、小児外科、産婦人科、麻酔科、放射線科(放射線治療科・放射線診断科)、整形外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、形成外科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、病理診断科。

●協力病院・協力施設

国立病院機構さいがた医療センター、厚生連上越総合病院、厚生連糸魚川総合病院、新潟労災病院、川室記念病院、高田西城病院、魚沼基幹病院、新潟県立妙高病院、新潟県立柿崎病院、新潟県立がんセンター新潟病院、新潟県立新発田病院、新潟県立上越保健所

●研修医の待遇 (2021年度研修医)

1年次	○月額	基本給 : 310,000円 当直手当 : 10,000円/回(月5回程度) 住居手当 : 25,000円(家賃の半額、上限27,000円) 時間外手当 : 45,000円(実績)
		月額平均 計 : 430,000円

○賞与 なし

2年次	○月額	基本給 : 340,000円 当直手当 : 20,000円/回(月4回程度) 住居手当 : 25,000円(家賃の半額、上限27,000円) 時間外手当 : 155,000円(実績)
		月額平均 計 : 600,000円

○賞与 なし

●勤務体制	勤務時間	8:30~17:15
	宿直(2年次)	17:15~8:30
	副直(1年次)	17:15~0:00
	日直	8:30~17:15

●研修医当直	回数(月平均)	4回/月
	当直時の勤務体制(研修医以外の当直医数)	4人
	(当直研修医数)	1~2人

1年次は0時まで副直、2年次は翌朝8時30分まで「研修医当直」として行い、内科系・外科系当直医師が指導医としてバックアップする。

●研修医の学習環境

居室 研修医専用医局に個人専用デスク有
研修医専用医局内の個室3室に仮眠ベッドを設置
図書・文献 医局図書室は24時間利用可能
国内図書 約4,000冊 国外図書 約1,000冊
国内雑誌 約100種類 国外雑誌 53種類
UpToDate、文献データベース、教育用コンテンツ、医学教育用シミュレーター有
インターネット環境 個人デスクにインターネット接続可能
研修医専用医局に、インターネット接続用P.C.1台、電子カルテ用P.C.5台

その他 「THE RESIDENT CIRCLE不識庵」として、新潟県立中央病院、厚生連上越総合病院、厚生連糸魚川総合病院、新潟労災病院、柏崎総合医療センターと合同で研修医および医学士向けの教育イベントを年5回程度開催している。

●研修の宿舎の有無など

宿舎 民間アパート・マンションを医師公舎として借り上げて、有償(県の規定により算定した貸付料)にて提供。
貸付料に応じ住宅手当を支給。(上限27,000円)

●食事

院内に食堂・売店有
弁当宅配利用可能
近隣にショッピングモール・スーパー・コンビニエンスストアあり。